

# わかやま 県議会 だより

## 9月定例会号

**No.38** 平成29年[2017]  
11月26日発行(年4回発行)

主な記事  
2~3面 平成29年9月定例会の概要  
4面 議会活動  
県議会からのお知らせ

QUIZ & PRESENT

## クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

「図書カード」を10名様にプレゼント!!

和歌山県が旬の観光素材として情報発信しているのは「水の国、わかやま。」と「○○○○○○王国わかやま」のキャンペーンです。さて「○○○○○○」に入るのは何でしょう。

ヒント: 2~3面を読んでね!!

応募方法: 4面をご覧ください。



新紀見トンネル工事の状況を調査

建設委員会では、8月28日から29日にかけて、施設整備等の状況について県内調査を行いました。

道路関係では、新紀見トンネル工事、国道371号石仏バイパス工事（仮称）和歌山南スマートインターチェンジ工事、国道370号阪井バイパス工事、すさみ串本道路（仮称）串本インターチェンジ建設予定地、県道白浜久木線のり面工事、湯浅御坊道路4車線化に係る川辺第一トンネル工事について、河川関係では、日高川水系の江川災害復旧助成事業による河川拡幅・掘削工事について、都市再開発関係では、和歌山市駅前地区第一種市街地再開発事業について、調査を行いました。

委員会としては、今後も、県当局とともに、地域の活性化と発展を図る道路ネットワーク等の社会資本整備、県民の生命と財産を守るための防災減災対策等を推進し、安全で豊かな県土づくりに取り組んでいきます。

### 建設委員会

# 常任委員会

# 活動レポート

6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します



JA紀北かわかみ かつらぎ中央総合選果場を見学

### 農林水産委員会

農林水産委員会では、9月25日にかつらぎ町において県内調査を行いました。

まず、和歌山県農林大学校では、農林業の担い手・技術者養成の取組の現状と課題について説明を受けた後、意見交換、場内の視察を行いました。JA紀北かわかみかつらぎ中央総合選果場では、取扱い品目や実績、出荷先等の説明を受けた後、柿の選果状況を見学しながら、施設の概要・仕組み等について調査を行いました。道の駅くしがぎの里では、施設の概要や直売所における農林水産物の販売実績など、現状や課題等について、関係者からの説明を受けた後、現場の視察を行いました。

委員会としては、今後も、所得の安定化や担い手の確保等をはじめ、本県の基幹産業である農林水産業の一層の振興と発展のため取り組んでいきます。

### 福祉環境委員会

福祉環境委員会では、県内調査のため10月11日に認知症疾患医療センターのある和歌山県立医科大学附属病院を訪問しました。

認知症の予防・治療と認知症患者への対応について、脳神経外科の小倉光博准教授から説明を受けました。

認知症とはどのような症状のことをいうのか、なぜそのような症状が起こるのか、また認知症の予防と治療にはどのような方法があるのかについて詳しく解説をしていただき、委員との間で活発な意見交換を行いました。

厚生労働省によれば2025年には65歳以上人口が全人口の36・3%を占め、認知症高齢者も増加していくと推計されています。中でも本県の高齢化率は極めて高くなると予想され、認知症に対する適切な施策を強力に推進していくことが重要な課題となります。

委員会としては、今後も各方面と連携協力しながら、県民が健康で元氣な生活を送れるようにこれからも取り組んでいきます。



認知症疾患医療センターの小倉光博准教授による説明

# 9月定例会の概要

9月12日～28日の17日間

## 議案等の議決結果

| 項目             | 件数 | 件名                                  | 結果   |
|----------------|----|-------------------------------------|------|
| 予算案件<br>(知事提出) | 2件 | 平成29年度和歌山県一般会計補正予算等                 | 可決   |
| 条例案件           | 5件 | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例等           | 可決   |
| 決算案件<br>(〃)    | 2件 | 平成28年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等            | 継続審査 |
| 人事案件<br>(〃)    | 1件 | 和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて        | 同意   |
| その他案件<br>(〃)   | 6件 | 平成29年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等          | 可決   |
| 請願             | 1件 | 難病法における軽症患者登録者制度の実現を要望する意見書提出を求める請願 | 採択   |
| 意見書・決議         | 5件 | 難病法における軽症患者登録者制度の実現を求める意見書          | 可決   |
|                |    | 国立高等専門学校の安定的・継続的な学習環境の確保を求める意見書     |      |
|                |    | 2025年国際博覧会の誘致に関する決議                 |      |
|                |    | 食品衛生管理の国際標準化を求める意見書                 |      |
|                |    | 小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書     |      |

## 一般質問議員 15人

| 9月19日(火) | 9月20日(水) | 9月21日(木) | 9月22日(金) |
|----------|----------|----------|----------|
| 森 礼子     | 秋月 史成    | 立谷 誠一    | 吉井 和視    |
| 岩井 弘次    | 藤本眞利子    | 奥村 規子    | 浦口 高典    |
| 玉木 久登    | 雑賀 光夫    | 花田 健吉    | 山下 直也    |
| 新島 雄     | 中西 峰雄    | 谷口 和樹    |          |

## 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
  - 防災・国土強靱化対策特別委員会……………9/19
  - 半島振興・地方創生対策特別委員会……………9/20
  - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会……………9/21
- 特別委員会の設置
  - 決算特別委員会を設置し、委員を選任……………9/28

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### 紀南地域へのIT関係企業誘致と人材育成

**問** 紀南地域に進出した企業に根づいてもらうには、企業が求める知識と経験を持った人材の育成が必要であるが、どう取り組んでいくのか。

**答** 今年度から首都圏での地方への転職イベントに誘致企業と共同で出展するとともに、8月には田辺市でわかやまIT企業説明会を開催しました。来年4月には田辺産業技術専門学院に情報システム科を開設し、企業の方を講師に招いた講義、企業に出向いての実習やインターンシップといった工夫したカリキュラムなどにより、企業が求める人材の育成に取り組んでいきます。



第2白浜町ビジネスオフィスイメージ図 (平成30年春完成予定)

### 稲の品種改良

**問** 稲の品種改良に取り組むことが稲作に力を入れているというメッセージとなる。本県の気候に合った稲の品種改良に取り組んではどうか。

**答** 県独自の研究をすれば大変勇気づけられるのはそのとおりですが、我々は限られた予算の中でコストパフォーマンスも考えていかねばなりません。温暖化に対応した米の研究は国で熱心に行っていますので、そういうものを積極的に取り入れ、米農家を力づけていく方がいいのではないかと現状では思っています。

### 果樹農業の将来

**問** 「篤農家」と果樹試験場との連携の状況について伺いたい。

**答** 技術の開発や普及には、高い技術力をもった篤農家の方々の連携が重要です。研究チームの設定については、平成24年度から篤農家の方々と関係機関からの要望、提案に基づき、優先度や実現可能性等も考慮して取り組んでいます。研究段階においては、篤農家の方々に御意見をいただきながら進めており、例えば、新たな品種の探索に御協力をいただき、「きゅうき」や「植美」といった優れた温州みかんの品種を見出し、登録申請につなげることができたところがあります。

#### 篤農家

実践的な農業技術・農業経営を研究し、各地でそれらの普及に貢献する中核的な農業従事者

### 住宅宿泊事業法

**問** 民泊についてはすべて地方に任せるのがベストだと思う。民泊について定めた住宅宿泊事業法が新たに成立したが、これについて知事の考えを伺いたい。

**答** 民泊により、観光客が増えることとあると考えます。しかし、大都市部では、事実上崩壊的に民泊が始まっており、すでに騒音やゴミ出し等で周辺住民とのトラブルも見受けられることから、県民の生活環境に悪影響が及ばないようにすることが必要です。法施行後は、県民の生活環境を守るとともに、観光地としての本県のイメージ低下を招かないよう事業者をしっかり指導監督していきます。

### 和歌山県の競技力向上とスポーツ施設の充実

**問** スポーツ施設の充実が競技力向上につながると思うが、どう考えるか。

**答** 本県の競技力については、紀の国わかやま国体の男女総合優勝で得られた成果やレガシーを活かし、その維持向上に努めています。また、県内のスポーツ施設については、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会だけでなく、終わった後の活用も踏まえ、計画的に必要な新設・改築等の整備を行ったところです。国体・大会が終わる、現在は新たな施設を整備するのではなく、競技力の維持向上や、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致など、国体・大会で整備した施設の有効活用を図っていくことが重要であると考えます。



紀三井寺運動公園陸上競技場

### 高齢者の交通事故と免許証返納

**問** 高齢者の交通事故の状況と免許証返納の取組や課題について伺いたい。

**答** 本年7月末現在の高齢者関係の交通事故は、発生件数、死者数ともに前年同期比で減少しています。が、全事故に占める割合は37.7%、全死者に占める割合は42.9%と高くなっています。交通事故の未然防止の観点から、高齢者の方が自主返納制度を利用されることは大変好ましいことですが、一方で返納後の交通手段の確保が課題であり、自治体や関係機関に対してコミュニティバス利用時の運賃助成等の実施を働きかけているところです。

### 健康づくりフレイルチェックの活用

**問** フレイルチェックを健康づくり運動の入り口に取り入れることで、さらに参加者の意欲が向上し、効果を客観的に把握できて、よりよい結果が期待できるのではないかと。

**答** 本県では平成28年度から29年度にかけて紀の川市とかつらぎ町がフレイルチェックの実証事業を実施しており、現在はデータの集計や分析を行い、実用化に向けて検証を行っているところと聞いています。県としては国のガイドラインについて情報収集に努めるとともに、このフレイルチェックに関する事業、国等の動向を見守っていきます。

**フレイル**

年をとって心身の活力が低下した状態を「フレイル」といい、多くの人が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態に陥ると考えられている。健康のためにフレイルの状態をチェックすることが現在注目されている。

### 海外への観光の情報発信

**問** 国では観光立国を目指して、2030年までに外国人観光客を6000万人という目標を設定しているが、県では海外に向けた情報発信戦略をどうしていくのか。

**答** 欧米豪市場に対して、観光客の関心度が高い高野山・熊野が持つ日本の歴史や精神文化を中心に、テレビ、雑誌、ウェブサイトなどのメディアを通じて継続的な情報発信を行っています。これらの取組を通じ、世界的な旅行ガイドブックで高評価を獲得しました。また、アジア市場に対しては、四季や絶景、温泉、食など人気の高い観光資源のメディア露出のほか、SNSを活用した情報発信を行っています。引き続き、同様の取組を継続的に実施するとともに「水の国、わかやま」キャンペーンや「サイクリング王国わかやま」など、旬の観光素材を提供していきます。



高野山根本大塔

### 非常時における想定外の事案への対処

**問** 近年は毎年のように和歌山県国民保護計画が改定されているが、現在の県庁組織は計画に書かれていない想定外の事案に対処できる体制にあるのか。

**答** 平成23年の紀伊半島大水害に発生しました。国、県、関係機関で構成する対策本部をまず招集し、一丸となって迅速にやってきましたが、今後も、いついかなる想定外の危機事象が発生するかわかりませんので、そういう時には対策本部を中心に県庁全体で頑張り、県民の力も結集して全力で適時、的確に対処して、県民の命と財産を守っていきます。

### 里親制度の取組状況

**問** 里親制度について平成24年度に質問したが、その後の取組状況はどうなっているか。

**答** 県では里親制度を推進するため、平成24年度に里親支援機関を紀北地域に設置し、制度の普及啓発や里親への訪問相談を行っています。昨年度は紀南地域に2カ所目を開設し、さらなる普及に取り組んでいます。今後、児童委員研修会における周知依頼や市町村の広報紙の活用など、新たな人材確保についての働きかけを行い、里親登録が増加するよう積極的に取り組んでいきます。

**里親制度**

さまざまな事情により家庭での養育が困難または受けられなくなった子供たちを、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境のもとで養育する制度

### 小学校における英語等の必修化

**問** 新学習指導要領では小学校において英語等が必修化されたが、子供達の多くが理解して習得できるポリリウムなのか。また、小学校の先生方には英語の発音が苦手な人が多いのではないかと。

**答** 小学校英語教育については、3・4年生での外国語活動を通じて、英語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けを行った上で高学年からの教科につなげており、児童の発達の段階に応じた内容になっていると考えます。発音については、来年度から使用するデジタル教材の効果的な活用方法を示し、児童が自然な英語の発音に触れて学習できるように指導していきます。



### 和歌山県大学生等進学給付金

**問** 大学生等進学給付金についての申込状況とその選考方法はどうなっているのか。

**答** この給付金は、貧困対策及び少子化対策の一環として、大学卒業後、県内へUターンすることを要件に、年間60万円、4年間総額240万円を給付します。40人の定数枠で募集しており、昨年度は64人、今年度は62人の申込があり、高校の成績に加え、面接及び小論文を実施し、選考します。県議会及び県が強く要望していた国の給付型奨学金が創設され、来年度から本格実施されることになりました。県としては、支援を必要とする子供が必要な給付を受けられるよう進めていきます。

### 和歌山市駅前地区の再開発事業

**問** 南海電鉄和歌山市駅前地区の再開発事業の目的は何か。また、進捗状況はどうか。

**答** 和歌山市駅前の整備については、多様な都市機能の集約による賑わいの創出や、駅前広場の再整備と利便性の向上を目的に、魅力ある拠点として再生していくこととしています。本年4月から既存施設の除却工事が始まり、平成31年度末には建築工事を終える予定です。各施設は、和歌山県福祉のまちづくり条例に基づいてバリアフリー化される計画となっています。



和歌山市駅前再開発イメージ図 (南海電気鉄道株式会社提供)

### 児童養護施設の役割

**問** 深刻な虐待を受けた児童を支援するために県内の児童養護施設が果たしてきた役割は極めて大きいと、県は児童養護施設の役割をどう考え、何を求めていくのか。

**答** 児童養護施設は、虐待等様々な事情で家庭で暮らすことのできない児童を、公的な責任のもとで親身になって養育する施設です。心理士などの専門性を持つ職員が配置され、高度かつ専門的な手厚いケアを集中的に提供できることから、今後とも家庭での養育が困難で特別なケアを必要とする児童の受入先になると考えています。

# 県議会からのお知らせ Information

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより(予定)** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(12月定例会の放送 12/1、8、11~13、19)

**県議会手話だより(予定)** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(12月定例会の放送 12/27)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト(予定)**  
開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送(12月定例会の放送 12/1、8、11~13、19)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

## 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

## 平成29年12月定例会 会期日程(予定)

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 本会議     | 12月1日(金)               |
| 本会議(質問) | 12月8日(金)・11日(月)~13日(水) |
| 常任委員会   | 12月14日(木)・15日(金)       |
| 本会議     | 12月18日(月)・19日(火)       |

※手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

## QUIZ & PRESENT

# クイズ&プレゼント

**〈応募方法〉** ハガキへ、①クイズの答え(〇〇〇〇〇〇)、②〒住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**12月15日(金)** **〈消印有効〉**までにご応募ください。

**【応募先】** 〒640-8585(住所不要) 県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
※皆様の個人情報、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

# Topics

## 議会活動の紹介



尾崎太郎議長、泉正徳議員、藤本眞利子議員、堀龍雄議員、中西峰雄議員、岩井弘次議員、秋月史成議員、川畑哲哉議員、玉木久登議員の9名が、仁坂知事と10月27日から11月3日までの日程で「和歌山県人ブラジル移住百周年記念式典」に出席するとともに、在アルゼンチン和歌山県人会を訪問しました。母県和歌山と両国との友好の絆をさらに深めるため、県人会の方々と積極的に交流を図りました。

## 和歌山県人、ブラジル移住百周年記念式典



特色ある取組について情報共有を図り、人材交流等の連携について検討していくことなどについて合意しました。また、更なる誘客に向けて、インバウンド受入体制整備充実等のため、国に対して財政等の支援を要望していくことについて合意するとともに、特に道路の整備が農林水産業の振興や観光の振興のために重要であるという点で認識が一致しました。

7月28日、和歌山・三重・奈良の三県の県議会議員が共通課題等について意見交換を行う「第11回伊半島三県議会交流会」が那智勝浦町で開催され、本県からは尾崎太郎議長、山本茂博副議長、坂本登議員、前芝雅嗣議員、立谷誠一議員、泉正徳議員、秋月史成議員、藤本眞利子議員、多田純一議員、雑賀光夫議員の10名が参加しました。「農林水産業の活性化を図るための人材育成について」、更なる誘客に向けての取組について、2議題について、各県から議題の提案趣旨説明や取組事例等の紹介が行われた後、三県の議員25名による活発な議論が行われました。

## 第11回伊半島三県議会交流会



片桐章浩議員

8月24日、関西広域連合議会8月定例会が滋賀県議会(大津市)で開催され、本県議会からは、坂本登議員、藤山将材議員、森礼子議員、片桐章浩議員の4名が出席しました。本会議においては、片桐章浩議員が「明治維新150年など歴史・文化を切り口とした関西広域観光」、「関西におけるエネルギー政策」について質問しました。特に、関西広域観光については、「和歌山県が生んだ偉人、陸奥宗光が生涯を閉じた8月24日に、「陸奥宗光伯 没後120年記念会」大政奉還・明治維新150年」と題したシンポジウムが和歌山市で開催されている。来年は明治維新から150年の節目であり、記念すべきこの節目の年を関西の広域観光に生かすべく、これを現在改訂が進められている関西観光・文化振興計画に観光素材の一つとして取り込み、関西にゆかりのある偉人などを切り口として取組を行うてはどうかとたどりました。

## 関西広域連合議会8月定例会

本会議は、山田委員(京都府知事)から、「内閣官房でも明治150年関連施策各府省庁方針会議において取組が検討され、薩長土肥など明治維新にゆかりのある自治体・地域ではPRイベントが計画されている。関西はまさに明治維新の中心の地で、関連する歴史遺産が多く存在する。文化庁の関西への全面的移転や、守る文化から活かす文化へと変わっていく時代であることから、これを機に様々な明治を巡る魅力ある資産、遺産、財産を結び付けたルートを作っていく」と答弁がありました。



は「北朝鮮のミサイル発射に抗議する声明」が全会一致で採択されました。

8月30日、和歌山・京都・大阪・兵庫・奈良・滋賀・三重・福井・徳島・鳥取の2府8県の県議会議員・副議長が円滑な議会運営と地方行政の推進について情報交換を行う「近畿2府8県議会議員会」が白浜町で開催され、本県からは尾崎太郎議長と山本茂博副議長が出席し、尾崎議長が座長を務めました。会議には16件の議案の提出があり、本県からは、高速道路のミッシングリンク解消、津波浸水対策としての河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の強化などに必要な予算の確保を国に対し強く求める「社会資本整備に必要な予算の確保等」を議案として提出しました。すべての議案は異議なく原案のとおり決定され、それらは近畿2府8県議会議員会の議決要望事項として、本県が代表で関係機関に対し要望を行いました。また、会議では「北朝鮮のミサイル発射に抗議する声明」が全会一致で採択されました。

## 平成29年度近畿2府8県議会議員会